

# まちの話題



## スポーツを通じて、友情を育む

4月24日(日)、町総合体育館で養老町スポーツ少年団結団式が行われました。この結団式は仲間意識と連帯感を高めるために毎年開催されており、今年は503人の団員らが一同に会しました。

式では、代表の団員5人が「スポーツの喜びを学び、友情と協力を大切にします」と力強く誓いのことばを述べました。

また、式終了後には、野球肩検診や体力測定が行われました。



「誓いのことば」を述べる団員ら



交通ルールを守り、自転車に乗る児童たち

## 守ろう、自転車ルールとマナー

4月27日(水)、広幡小学校グラウンドで交通安全教室が開催され、児童たちは、養老地区交通安全協会広幡分会などから、自転車に乗る際の交差点での左右の確認や横断歩道の渡り方などの指導を受けました。

教室終了後は、養老地区交通安全協会から児童たちに自転車用の反射材が渡されました。児童を代表して、6年生の松永紘典さんが「安全な乗り方とルールを教えてください、ありがとうございます。事故にあわないようにルールを守ります」とお礼のことばを述べました。

## 厚生労働大臣特別表彰

4月28日(木)、民生・児童委員を務められ、3月に亡くなられた吉松健子さん(押越)への厚生労働大臣特別表彰伝達式が町役場で行われ、夫の攝雄さんに表彰状が渡されました。

健子さんは、平成6年から昨年までの21年という長きにわたり、民生・児童委員を務められ、地域福祉に多大な貢献をされました。攝雄さんは「妻は、民生委員の仕事に熱心に取り組んでおり、生きがいとしていたので、家族としてもすごく嬉しいです」と話されました。



表彰状を手渡された吉松攝雄さん(中央)と町民生児童委員協議会会長、本田學さん(右)



養老改元について詠まれた詩を吟じた養老吟詠会

## 日頃の練習の成果を発表

4月29日(金)、第36回養老町芸能大会(町芸能協会主催)が町民会館で開催され、会員ら約350人が琴や詩吟、民謡、踊りなどの民俗芸能を披露しました。

この芸能大会は、毎年開催されており、今年は同協会に加えている15団体とゲスト出演の4団体が日頃の練習の成果を発表し、観客からはたくさんの拍手が送られていました。